

<第109回調査>

2018年6月25日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的に実施しておりましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2018年6月12日(火)13:00～2018年6月19日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は618件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

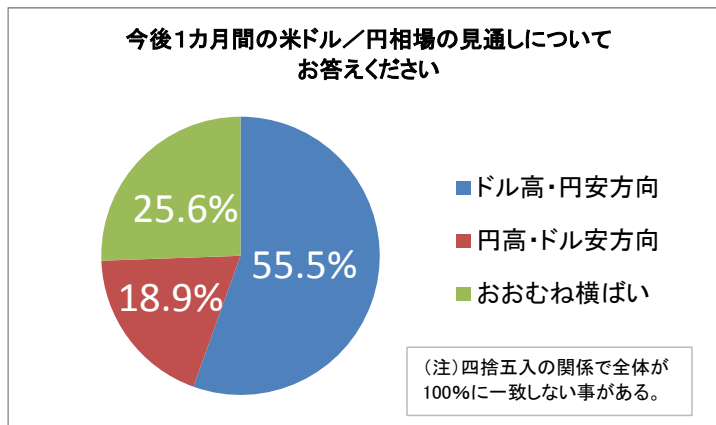
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第109回調査結果略報：米ドル強気の見方、順張りスタンスも】

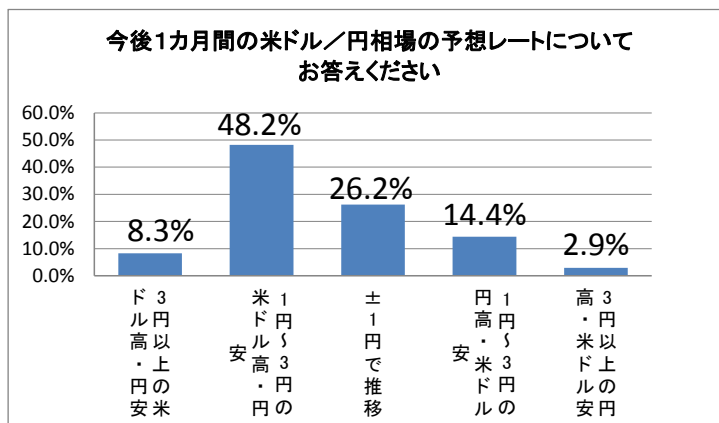
問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が55.5%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は18.9%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は△36.6%ポイントとなり、前回(△38.5%ポイント)から小幅に低下したが、比較的高水準にとどまっている。調査期間中に米連邦公開市場委員会(FOMC)と日銀金融政策決定会合が行われた事などから、日米の金融政策のベクトルの違いが意識される中、米ドル/円は110円台で底堅く推移した。そうした中で個人投資家の予想も米ドル強気を維持したと考えられる。ただ、調査最終日の19日に、米中貿易戦争への懸念が高まりドル安・円高が進んだ点は今回の予想DIに反映されていない可能性が高い。※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が48.2%と最も多く、「±1円で推移(26.2%)」、「1円～3円の円高・米ドル安(14.4%)」と続き、以下「3円以上の米ドル高・円安(8.3%)」と続き、「3円以上の円高・米ドル安」は2.9%にとどまった。ヒストグラムの形状は米ドル高・円安側の左サイドに大きく傾いており、米ドル強気・円弱気の予想が示された問1の結果と整合的だ。また、各回答の割合が前回とほぼ一致した点も問1と同様だ。1カ月が経過しても個人投資家の米ドル/円に対する相場見通しがほとんど変化しなかったという事になる。

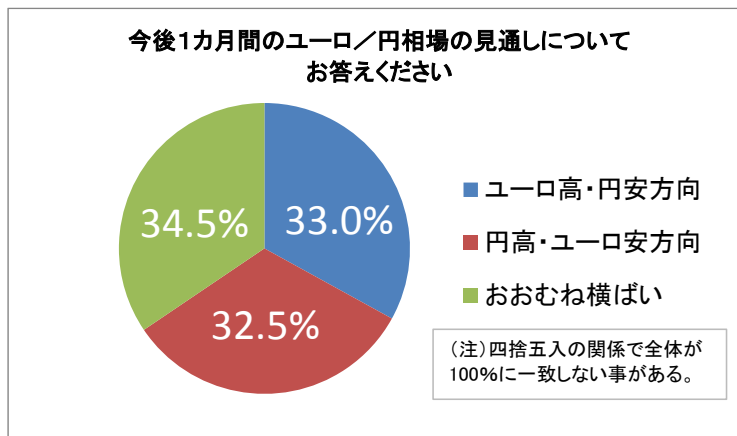


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

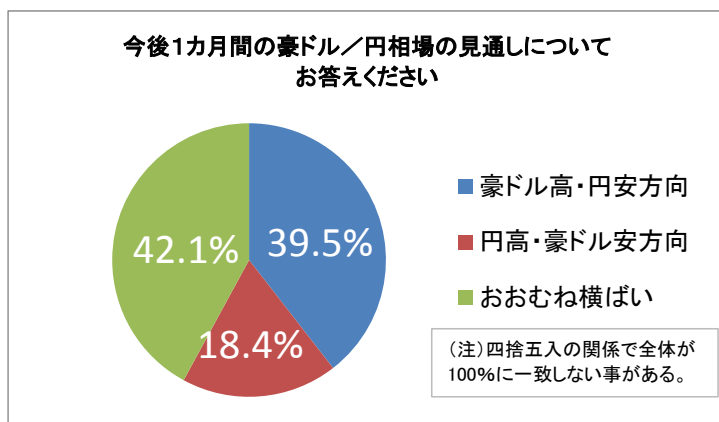
問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が33.0%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合も32.5%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は $\Delta 0.5\%$ ポイントと、ほぼ中立水準であった。なお、前回は完全中立の $\pm 0.0\%$ ポイントであった。調査期間中のユーロ/円相場は、130円台では上値が重く、欧州中銀(ECB)理事会後には128円前後まで反落。その後、最終日には円が全面的に買われる中、一時127円台を割り込んで下落したが、そうした軟調推移が個人投資家の相場観に大きく影響する事はなかったようだ。※過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が39.5%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は18.4%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は $\Delta 21.1\%$ ポイントとなり、前回($\Delta 12.3\%$ ポイント)から上昇して4カ月連続で強気見通しを示すプラス圏を維持した。調査期間中の豪ドル/円相場は、84円台から81円台へと下落。最終日には米中貿易戦争をめぐる懸念から一時81円台を割り込んで約3カ月ぶりの安値を付ける場面もあった。そうした相場環境の中にあっても、豪ドル/円予想DIがプラス幅(強気度合い)を拡大したのが印象的だ。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



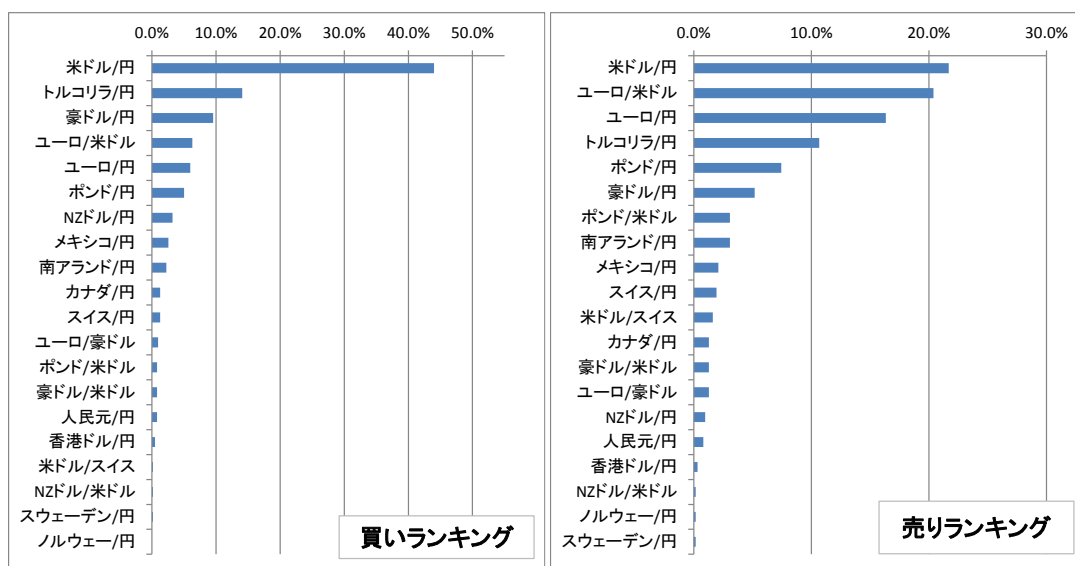
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が44.0%の回答割合を集めて1位となり、69カ月連続で首位をキープ。以下、トルコリラ/円(14.1%)、豪ドル/円(9.5%)、ユーロ/米ドル(6.3%)、ユーロ/円(6.0%)の順に続いた。米ドル/円については安定の1位独走が続いているが、2位のトルコリラ/円も前回(12.6%)からさらに回答割合を伸ばしている。トルコでは、今回の調査期間終了後の24日に大統領選・議会選挙が行われるが、その結果を受けてトルコリラが下落した場合には、個人投資家が買い向かう可能性が高いと言えそうだ。

一方、「売り」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が21.7%の回答割合でトップの座を維持。以下、僅差の2位がユーロ/米ドル(20.4%)、3位はユーロ/円(16.3%)、4位トルコリラ/円(10.7%)、5位ポンド/円(7.4%)の順に続いた。ここ数カ月間、ユーロの「売り」に注目する向きが増加している傾向が見て取れる。一方で、米ドルの「売り」は回答割合が低下傾向にある。米ドル/円の連続首位記録が果たして20でストップする事になるのか、次回の調査が待たれる。

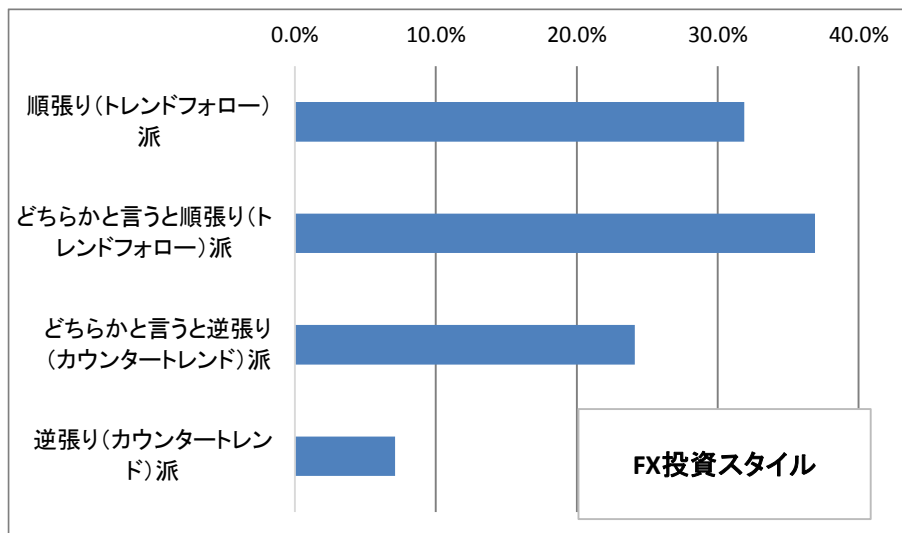


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6: あなたのFX投資のスタイルは、いわゆる「順張り」「逆張り」のどちらでしょうか(ひとつだけ)

今回の特別質問として、「あなたのFX投資のスタイルは、いわゆる「順張り」「逆張り」のどちらでしょうか(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「どちらかと言うと順張り(トレンドフォロー)派」が36.9%と最も多く、「順張り(トレンドフォロー)派(31.9%)」、「どちらかと言うと逆張り(カウンタートrend)派(24.1%)」と続き、「逆張り(カウンタートrend)派」と答えたのは7.1%のみだった。より大きく分類すると順張り派が68.8%、逆順張り派が31.2%となり、巷のイメージとして定着している「個人の逆張り」とは反対の回答結果が出た。なお、1年前の同じ調査でも7割弱が「順張り」、3割強が「逆張り」で、今回とほぼ同じ割合であった。また、自身の投資スタイルの理由について自由記述形式で尋ねたところ、順張り派からは「短期トレードで高いリスクは取れない」「賭けには出られない」などの声が挙がっていた。一方、逆張り派からは「レンジ相場での投資を主として行っているためレンジの上下限で逆張りを行っている」との回答があった。これらの回答から推測すると、デイトレーダーは「順張り」志向が強いと見られる一方、中長期視点のトレーダーは「逆張り」スタイルが主流という事だろう。順張り派が全体の7割近くを占める点についても、FX個人投資家にはデイトレーダーが多い事を考えれば特に違和感はないと言えそうだ。

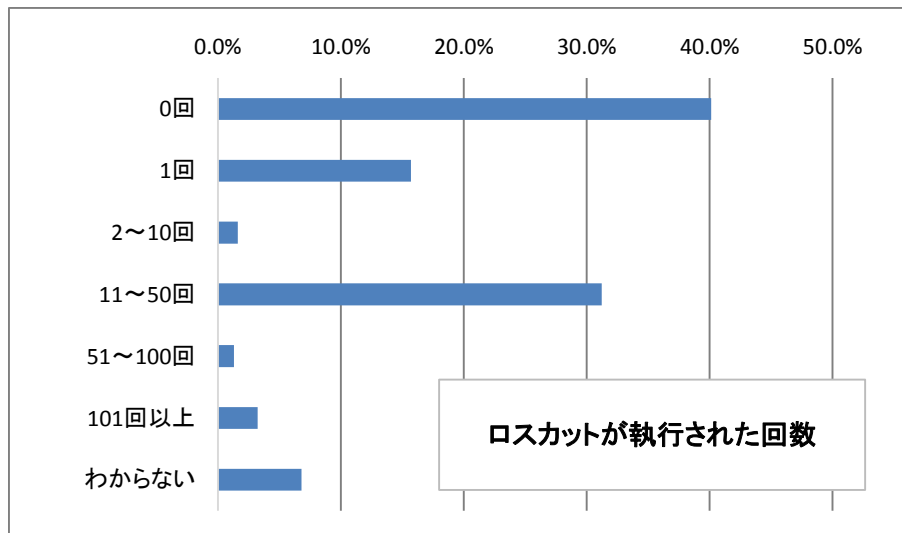


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6:これまで、ご自身のポジションヘロスカットが執行されたことは何回ありますか？(ひとつだけ)

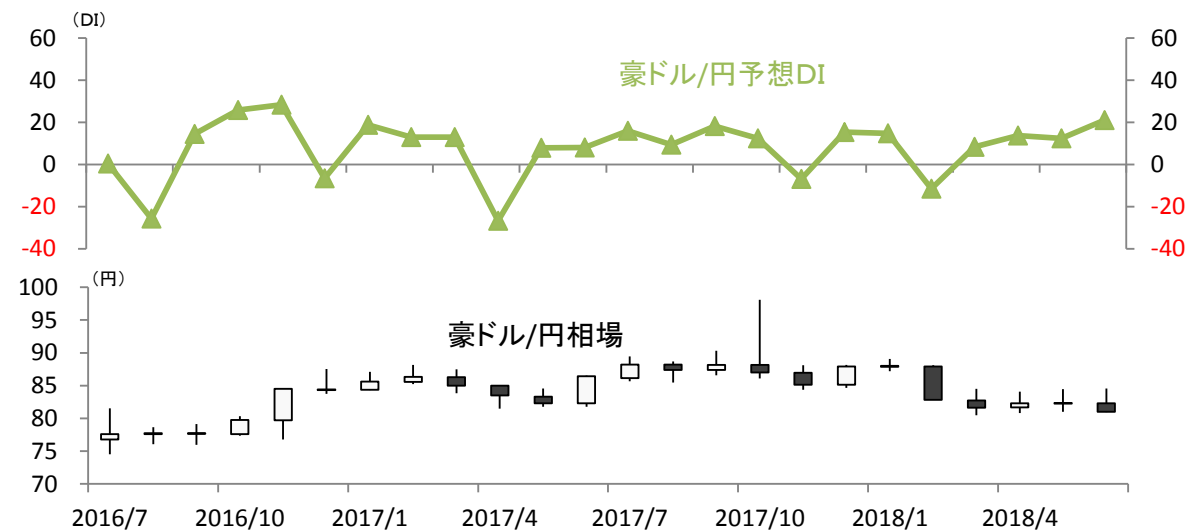
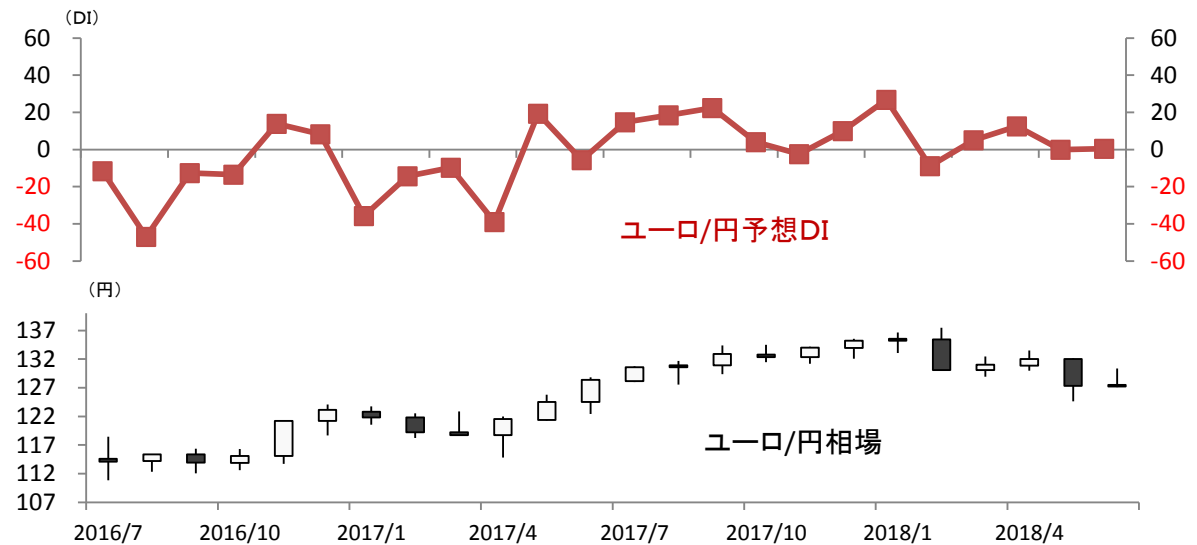
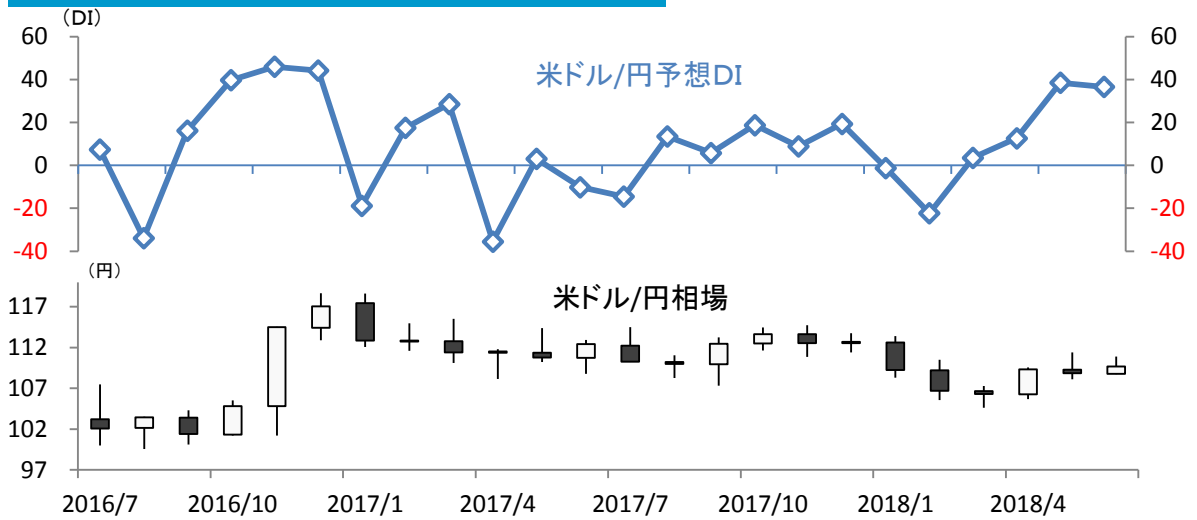
今回のもうひとつの特別質問として、「これまで、ご自身のポジションヘロスカットが執行されたことは何回ありますか？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「0回」が40.1%で最も多かった。次いで「11～50回(31.2%)」、「1回(15.7%)」、「わからない(6.8%)」、「101回以上(3.2%)」、「2～10回(1.6%)」、「51～100回(1.3%)」の順になった。今回の調査結果から、半数以上の個人投資家が少なくとも1度は「ロスカット」を執行された経験を持つ事がわかった。なお、「0回」と答えた層からは、その理由として「レバレッジが低いから」「余裕を持って取引している」などの声が挙がった。一方、「101回以上」とした向きからは「資金許容ぎりぎりの勝負をかけているからいつものこと」との回答があった。また、「わからない」とした中には「いちいち数えていない(数えきれない)」とする記述もあった。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第109回目となりました。調査開始から8年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めていきたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル/円			ユーロ/円			豪ドル/円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2016年	7月	48.3	32.1	16.2	32.1	44.7	-12.6	44.2	29.8	14.4
	8月	26.5	48.9	-22.4	17.2	48.1	-30.9	25.9	40.2	-14.3
	9月	34.5	36.8	-2.3	23.8	38.0	-14.2	28.4	35.4	-7.0
	10月	57.3	17.6	39.7	24.2	37.7	-13.5	43.3	23.0	20.3
	11月	65.9	19.9	46.0	38.7	24.8	13.9	47.0	21.2	25.8
	12月	64.4	20.2	44.2	36.6	28.3	8.3	50.0	21.6	28.4
2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5	-6.6
	2月	46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8
	3月	53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0
	4月	21.6	51.7	-35.5	17.7	56.6	-38.9	19.6	46.4	-26.8
	5月	38.4	35.3	3.1	45.9	26.5	19.4	34.9	27.0	7.9
	6月	33.3	43.4	-10.1	31.5	37.1	-5.6	33.7	25.7	8.0
	7月	30.7	45.2	-14.5	42.4	27.6	14.8	42.8	26.9	15.9
	8月	45.5	32.0	13.5	43.8	25.3	18.5	37.3	27.9	9.4
	9月	40.8	35.0	5.8	44.4	22.0	22.4	40.9	22.7	18.2
	10月	48.2	29.4	18.8	35.5	31.5	4.0	37.9	25.6	12.3
	11月	40.0	31.1	8.9	29.0	31.4	-2.4	26.9	33.8	-6.9
	12月	45.5	26.1	19.4	35.0	25.0	10.0	38.0	22.6	15.4
2018年	1月	38.0	39.2	-1.2	48.2	21.3	26.9	37.3	22.6	14.7
	2月	29.1	51.4	-22.3	30.1	38.9	-8.8	28.4	39.9	-11.5
	3月	39.6	36.0	3.6	34.0	29.0	5.0	38.6	30.2	8.4
	4月	42.8	30.1	12.7	37.9	25.3	12.6	39.0	25.3	13.7
	5月	57.4	18.9	38.5	30.3	30.3	0.0	34.9	22.6	12.3
	6月	55.5	18.9	36.6	33.0	32.5	0.5	39.5	18.4	21.1

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com